



決算説明補足資料

—2019年11月期—

株式会社ラクト・ジャパン

目次

1. 連結業績概要 P. 2
2. 事業別売上高および販売数量推移 P. 3
3. 連結貸借対照表 P. 5
4. 連結業績予想（2020年11月期予想） P. 6

■ 参考資料

- ・ 当社の為替リスクと会計上の表示について
- ・ 売買取引のイメージ（為替の影響）

1. 連結業績概要



(財務数値の表示は端数切り捨て 単位：百万円)

	2018年 11月期	2019年11月期			2020年 11月期 通期予想
		実績	対 前期比	対 前期比率 (%)	
連 結 売 上 高	115,440	116,794	1,353	1.2	130,000
経 常 利 益	2,612	2,746	134	5.1	3,000
売上高経常利益率 (%)	2.3	2.4	0.1	-	2.3
(経常利益に含まれる為替影響額※1)	(▲59)	(▲31)	27	-	-
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,784	1,963	178	10.0	2,100
売上高当期純利益率 (%)	1.5	1.7	0.2	-	1.6
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	182.31 _{※2}	200.11 _{※2}	17.80		213.80 _{※2}
為替レート (円/USD)	110.47	109.33	▲1.14		
為替レート (円/EURO)	130.91	122.63	▲8.28		
R O E	13.2%	13.0%			

※1 経常利益に含まれる為替影響額：当社は外貨為替会計処理基準における原則法を採用しているため、為替ヘッジの影響が売上原価と営業外損益の両方に計上されます。そのため売上原価と営業外損益両方に対する為替ヘッジの影響額を記載しております（詳細はP7以降の参考資料をご覧ください。）

※2 当社は、2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2-1. 事業別売上高

(数値の表示は端数切り捨て 単位：百万円)

	2018年11月期					2019年11月期					2020年 11月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期予想
乳原料・ チーズ	21,972	21,839	21,856	19,621	85,290	21,109	21,566	22,119	20,411	85,206	91,750
	61.9%	33.6%	13.4%	-5.8%	21.8%	-3.9%	-1.3%	1.2%	4.0%	-0.1%	7.7%
食肉加工品	3,337	3,279	2,990	2,969	12,576	2,941	3,162	3,187	2,988	12,280	16,000
	-22.4%	-19.8%	-15.1%	-11.2%	-17.6%	-11.9%	-3.6%	6.6%	0.7%	-2.4%	30.3%
アジア (乳原料販売)	3,436	3,866	3,128	4,147	14,578	2,992	4,310	3,709	5,013	16,026	18,950
	5.6%	6.6%	8.0%	16.0%	9.2%	-12.9%	11.5%	18.6%	20.9%	9.9%	18.2%
アジア (チーズ製法販売)	499	498	554	564	2,116	658	626	679	687	2,651	2,800
	10.2%	14.0%	14.9%	3.1%	10.3%	31.9%	25.7%	22.6%	21.7%	25.2%	5.6%
その他	216	218	248	195	878	183	160	128	157	630	-
	9.6%	8.5%	14.9%	-3.0%	10.7%	-15.3%	-26.6%	22.6%	6.4%	-28.3%	-
売上高合計	29,461	29,703	28,778	27,497	115,440	27,886	29,826	29,823	29,258	116,794	130,000

※ 表内の数値に関して、上段は各四半期間の売上高、下段は前年同四半期比率を表示しております。

2-2. 販売数量推移

(数値の表示は端数切り捨て 単位：MT)

	2018年11月期					2019年11月期					2020年 11月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期予想
乳原料・ チーズ	53,509	50,658	50,149	44,127	198,445	49,784	50,354	52,814	51,152	204,105	213,800
	49.6%	27.3%	5.1%	-11.0%	14.8%	-7.0%	-0.6%	5.3%	15.9%	2.9%	4.8%
食肉加工品	5,789	5,576	5,138	5,090	21,595	4,985	5,525	5,806	5,214	21,532	29,900
	-22.7%	-21.3%	-14.8%	-11.4%	-18.0%	-13.9%	-0.9%	13.0%	2.4%	-0.3%	38.9%
アジア (乳原料販売)	11,977	14,454	11,977	14,412	52,822	11,298	16,593	13,853	18,179	59,925	69,500
	10.4%	17.9%	19.0%	21.7%	17.3%	-5.7%	14.8%	15.7%	26.1%	13.4%	16.0%
アジア (チーズ製造販売)	643	646	660	718	2,668	874	930	928	1,004	3,737	3,900
	4.6%	15.4%	4.6%	2.1%	6.3%	35.9%	44.0%	40.6%	39.9%	40.1%	4.3%

※ 表内の数値に関して、上段は各四半期間の販売数量、下段は前年同四半期比率を表示しております。

3. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年11月末	2019年11月末	増減額
流動資産	46,337	45,774	▲562
現金及び預金	4,929	4,474	▲454
受取手形及び売掛金	15,873	17,852	1,979
棚卸資産	25,216	22,946	▲2,269
流動資産その他	318	501	182
固定資産	2,630	2,360	▲270
有形固定資産	597	568	▲28
無形固定資産	39	29	▲9
投資その他の資産	1,994	1,761	▲232
※ 資産合計	48,967	48,134	▲832
買掛金	11,173	12,649	1,475
有利子負債	20,948	17,641	▲3,307
負債その他	2,413	1,879	▲533
※ 負債合計	34,536	32,170	▲2,365
純資産	14,431	15,964	1,532
負債・純資産合計	48,967	48,134	▲832

(財務数値の表示は端数切捨て、内訳は主要項目のみ記載)

主な増減要因

- 受取手形及び売掛金の増加
 - 期末（11月末日）が休日だったことにより、一部売掛金の回収が翌期となった
- 棚卸資産の減少
 - 前期、前倒しで原料を調達した顧客向けの在庫が今期解消
 - 円高、関税低減等の影響による在庫金額の減少（チーズ）
- 買掛金の増加
 - 受取手形及び売掛金と同様、期末（11月末日）曜日の影響

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

4. 連結業績予想（2020年11月期予想）

（財務数値の表示は端数切り捨て 単位：百万円）

	2019年11月期 実績	2020年11月期		
		予想	対前期比 増減額	対前期比 増減率(%)
連結売上高	116,794	130,000	13,205	11.3%
経常利益	2,746	3,000	253	9.2%
売上高経常利益率(%)	2.4	2.3	▲0	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,963	2,100	136	7.0%
売上高当期純利益率(%)	1.7	1.6	▲0.1	-
1株当たり当期純利益(円)	200.11	213.80	13.69	
1株当たり配当金(円)	22	30	8	

参考資料：為替関連

■ 当社は基本的に為替リスクを負わないビジネスモデル。

海外仕入先との外貨建て仕入契約締結と同時に、国内顧客と円貨の販売契約締結。
その際、仕入外貨額に対する為替予約をすることで為替リスクをヘッジしている。

但し、当社は会計処理基準における原則法を採用しているため、会計上の表示が特徴的。

- 1. 売上総利益と営業外損益（為替差損益）の表示に常に影響。**
- 2. 決算期末をまたぐ取引（翌期以降に販売）は期間損益の表示に影響が発生。**

■ 表示の特徴

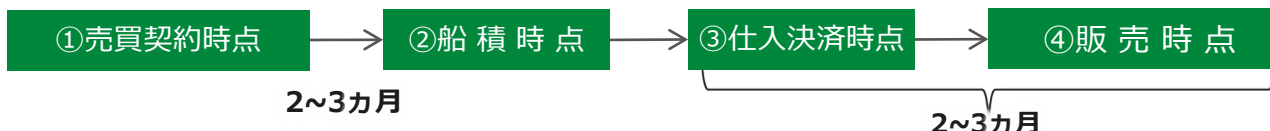
取引の段階に応じて、計上に使用する為替レートが異なるため、
取引の途中段階において、為替差損益が生じる。

最終的には当初の為替レートにより計上された売上・売上原価になるので実質的な利益に
影響はないが、売上計上前の取引の途中段階においては

- ① 売上総利益と営業外損益の表示に影響するほか、
- ② 計上が期間をまたがることにより、期間損益に影響する。

売買取引のイメージ（為替の影響）

為替レートが変動しても、実質的な利益には影響しない。



処理

- 為替予約（①時点レート）
 - ※同時期に行う処理
 - 仕入先と外貨建て契約
 - 販売先と円建て契約
 - = 実質的な利益確定
- 仕入計上 = 実勢為替レート（②時点レート）
- ①と②時点の為替変動差を為替差損益として計上
- 売上計上（①時点で契約した円建金額）

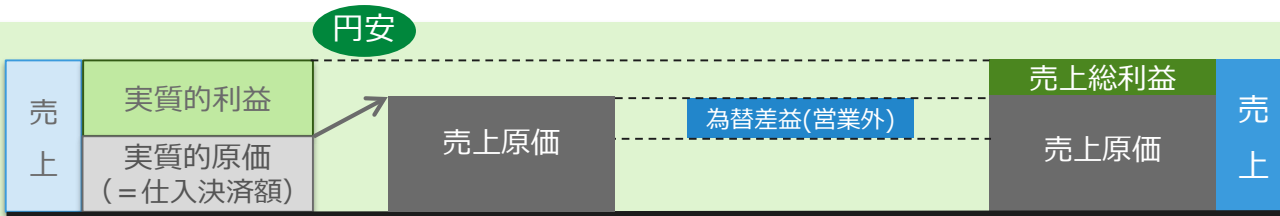
取引終了時(④まで終了)
 ④の販売まで終了した時点では、①～④時点の処理が通算され、①時点の実質的利益及び実質的原価と同額が会計上も計上される。

取引が途中で決算をむかえた場合
 ③時点と④時点の間に期末をむかえた場合、先行して、為替差損益(営業外)が計上される。

為替レート変動なし

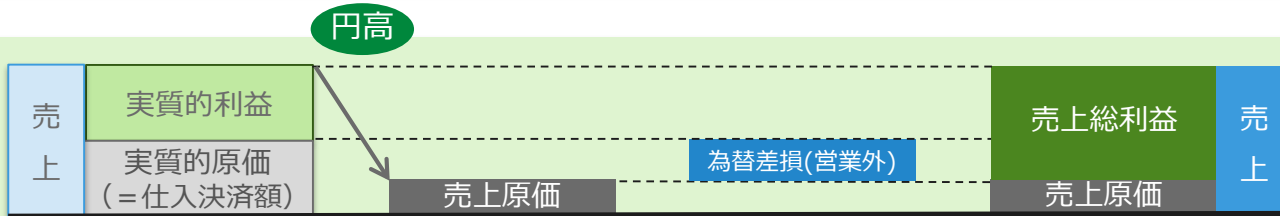


為替レート円安



③時点では為替差益が営業外利益として先行して計上。
 →①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が高くなるため

為替レート円高



③時点では為替差損が営業外損失として先行して計上。
 →①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が安くなるため